

こやまだより

野火止

のびどめ

2019

No.67

編集 発行

(福)東京都社会福祉事業団

東京都小山児童学園

〒203-0041 東久留米市野火止2-22-26

電話 042(471)0041

FAX 042(475)9046

<https://koyama->

[gakuen.jp/koyamatop.htm](https://koyama-)

令和元年5月22日発行

令和元年度／登録第1号



ご挨拶

4月から園長に着任いたしました。どうぞよろしく
お願いいたします。

園長 田窪 和美

これまでも職場の異動は何度も経験しておりますが、新しい職場の初日は、いつも期待と不安が入り混じりながらの出動になります。しかし、実際には、学園の子供たちの明るい笑顔に迎えられ、ほっと一安心することができました。同時に、今後もずっとこの笑顔が見られるよう、子供たちが安全に、安心して生活できる施設運営をしていかなければならない責任を改めて感じた次第です。学園では、4月からの新しい生活をスタートさせる子供たちが、無事に卒園していききました。そして今は、進級・進学した在園生とともに、学園の新しい仲間となる子供たちを次々と迎えています。また、職員も、園長の私をはじめとする転入職員や新規採用職員が加わり、顔ぶれが変わりました。

このように、各寮の雰囲気や環境が少しずつ変わる中、例年にない10連休が始まり、元号も平成から「令和」となりました。5月当初の長い休みがどのように影響するか心配もありましたが、連休中は事故もなく、子供たちも安定した生活を送ることができ、元気に学校への登校を再開しています。

さて、令和は、「一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる」との願いを込め新元号として決められたそうです。元号が変わるということは、何回も経験することではありません。そして、これからの令和という時代は、学園の子供たちにとって、人生の大きな比重を占める時代となります。この新しい時代の幕開けが、子供たちの「自立と自律」に向けた確かな一歩になれるよう、職員一同、尽力してまいります。今後とも、地域や関係機関の皆様に、御理解と御協力を頂きますようお願い申し上げます。



門出を 祝う会

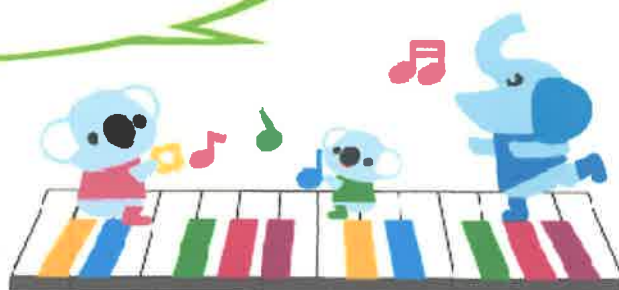


今年も「門出を祝う会」が行われました。
今年には卒園生11名、進学児童13名と大勢で
職員のバンド演奏もあり、賑やかになりました。
進学児童は新しい学校への抱負を皆の
前で表明し決意を固めていました。
一方で卒園生は今まで生活してきた小
山児童学園に思慕の念を抱きながらも、新
しい生活に対する希望と不安と決意を胸に
堂々と胸を張って見送られていきました。
見送る職員や在園生の目にも熱いものが
込み上げており、非常に暖かく趣のある小山
児童学園らしい素敵な会となりました。

菊寮 担当職員



ピアノ発表会



発表会当日まで、「大丈夫かなあ・・・」と心配されていたAKちゃん、REちゃんでしたが、ギリギリまで練習を積み重ねた甲斐もあり、無事に演奏をすることができました。AKちゃんは落ち着いてしっかりと、REちゃんは可愛らしい感じが印象的な演奏となりました。高校生のATちゃんは卒園を前にした発表会でしたが、さすがレッスンを6年間続けたこともあり、成長が感じられる感動的な演奏でした。

御指導いただいた先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

竹原 担当職員



編集後記

令和へと年号が変わる中、令和最初となる六十七号を発行することができました。

新たな職員も加わり、元年度をスタートします。

今年度も宜しくお願い致します。

広報担当